

◆学校教育目標：「いのち」を尊び、共に学び、共に輝き、生命力あふれて生きる「あかいつ子」の育成◆

令和2年度 赤井小学校 令和3年 2月16日 NO,18

さくら児童会ゆるキャラ



校長室だより 笑顔



◆さくら児童会スローガン：助け合い 夢に向かって あかいつ子◆

さくらだいこくん

2月13日(土) 23時8分 東松島市 震度5強 (M7.3) の大きな地震が起こりました。

赤井地区は停電が起き、地震の恐ろしさを感じながら、不便な生活を送った児童もいたようです。今後、同等規模の余震が起きる可能性があるとして気象庁で注意を呼び掛けています。学校では「何があっても自分の命を守ることを優先する」をはじめ、今後の備えについて指導しました。ご家族でも場面を想定して話し合いをして下さい。

おいしい「給食週間」&豆まき集会(1・2年生)



「このしゃもじで作っています」

「鬼は外～、福は内～」

1月最終週は給食週間でした。これは1月24日の給食記念日に合わせて、改めて栄養や食事作法を楽しく学ぶ週間です。左の写真は給食センターの栄養教諭が出前授業「給食ができるまで」をしてくださいました。

右の写真は、1・2年生の豆まきの写真です。新聞紙で作った豆をまき、心にいる悪い鬼を追い出しました。暦に合わせていろいろな行事をしています。

★★

二中の先生方を迎えて！教員も小中交流会！



中学校の先生が授業参観(6年生)



よりよい小中連携の在り方の協議



矢本二中松崎校長先生からのお話

教員の小中交流会を開催しました。春は本校教員が矢本二中へ(今年は新型コロナ流行で中止)、冬は二中の教員が赤井小へ出向いて、授業参観と懇談会を持ちます。2月5日(金)に、矢本二中松崎校長先生を始め10人の先生方を迎えました。授業参観では小学生の授業の様子や指導方法を参観し、懇談会では学力向上の取組やゲーム・スマホの問題、赤井小卒業生の活躍などの話題で充実した話し合いになりました。教員同士、小中の垣根を越えて赤井地区の児童・生徒のよりよい姿についての連携を深めています。



校長講話 「すごいね！あかいつ子。三つのお話」

2021.2.3 リモート朝会

みなさん、おはようございます。昨日は節分で豆まきをした人もいると思います。今日は立春で、暦の上では春になりました。いつもなら2月3日が節分で2月4日が立春ですが、124年ぶりに、一日早まった節分と立春になりました。少しずつ温かい日が増えて、春が近づいてきます。

2月の校長先生のお話は、心が温まるお話、「すごいね！あかいつ子。三つのお話」です。

一つ目は、これです。(新聞記事を見せる)土曜日に行われた修繕記念和太鼓発表会の活躍についてです。発表会が終わったあと、来ていただいた来賓の方から言われた言葉を紹介します。

一人目の方は「どの学年も上手でした。学年のめあてに向かって真剣に取り組む姿は、赤井小学校の素晴らしさと思えました。」そして、二人目の方は「発表を見て、練習から一生懸命に取り組んでいる様子がわかりました。あかいつ子の頑張る姿があるから、地域の人も太鼓の修理に協力したいと思ったのでしょう。これからの頑張ってください。」と言われました。

校長先生は、皆さんの頑張りを褒められてとてもうれしくなりました。

一昨年から今年にかけて、みなさんのご家族や地域の皆さん、企業の皆さんのご支援で和太鼓の革を張り替えたり、胴を塗り替えたりして綺麗にリニューアルしました。これから大切に使うと長持ちして20年、30年と演奏することができます。感謝の気持ちを忘れずに使ってください。

赤井小学校の和太鼓は、全国に誇れる活動であることを知っていますか。普通の小学校で和太鼓を演奏する場合は、5・6年生が学校を代表して演奏することが多くあります。また、全校児童が10人や20人の少ない学校では、1年生から6年生までが全員で一つの太鼓演奏をします。しかし、赤井小学校では1年生から6年生まで、それぞれの学年が演奏します。それは全国でもあまり見られない、珍しく、そして自慢のできる和太鼓活動です。これからも、心ひとつに卒業生が育んできた伝統ある「赤井いぶき太鼓」に取り組んで、さらに素晴らしい伝統を作り続けていきましょう。発表会の皆さんの一生懸命でかっこいい姿に感動しました。これが一つ目の「すごいね!」でした。



修繕記念 和太鼓発表会

★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆

二つ目の「すごいね!」はゴミ拾いです。赤井小学校では心あったかイートころ運動に取り組んでいます。その中の一つに「進んでゴミを拾う」ことがあります。

1月24日日曜日に、南区のロープ公園で進んでゴミ拾いをしたあかいつ子がいます。その日、ロープ公園にはたくさんのゴミが捨ててありました。悲しいですね。ゴミのポイ捨ては、地球を汚すのでSDGs活動違反でもあります。その公園で遊ぼうとした赤井小の6年生4・5人が、進んでゴミ拾いをし公園をきれいにしてくれました。さすが、イートころ運動やSDGs活動に進んで取り組んでいるあかいつ子です。

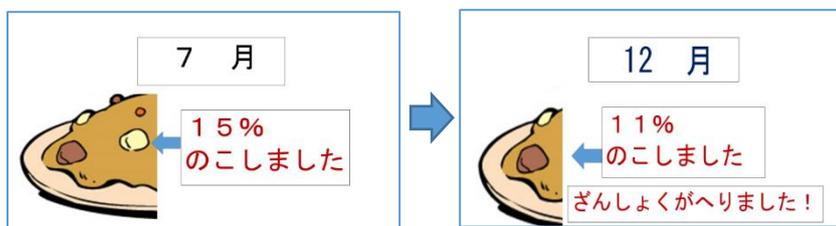


これは、地域の人が校長先生に電話で教えてくれてわかりました。先月の学校だよりは、矢本二中の先生と一緒に公園のゴミ拾いをした素晴らしい5年生の話を載せました。使った場所をきれいにすることは「マナー」です。そして、落ちていたゴミを進んで拾うことは「勇気ある思いやり」です。

5年生や6年生のあかいつ子が、地域でゴミを拾う「勇気ある思いやり」を出してくれたことをうれしく思いました。そして、校長先生が知らないところで皆さんは良いことを行っているんだと感心しています。以上が、二つ目の「すごいね!」でした。

★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆

最後、三つ目の「すごいね!」です。これは給食のお話です。11月の朝会で「給食を残さないで食べましょう。」のお話をしました。結果は・・・なんと、残す量が減りました。あかいつ子が7月に給食を残す割合は約15パーセントでした。しかし、12月の給食を残す割合は11パーセントになりました。4パーセントも減りました。分かりやすく絵で示します。



これは一人ひとりが、「健康な体を作る」や「エネルギーを満タンにする」「食品ロスをなくす」「食べ物の命や作ってくれた人に感謝する」などを考えて残さずに食べてくれたおかげです。

校長先生や担任の先生のお話をしっかりと聞いて全校で「給食は残さず食べよう」というめ

あてに挑戦して、それができたことがすごいと思えました。先週の給食週間で給食のおいしさや体に良いことがわかったので、これからも挑戦してください。給食を残さず食べようとするあかいつ子全員が三つ目の「すごいね!」です。

今日は、1年間のまとめの時期を迎えて、あかいつ子の「すごいね!」を3つ紹介しました。あかいつ子にはもっともっと「すごいね!」があるようですので、校長先生はたくさん見つけたいと思います。2月も挨拶に、学習に、運動に笑顔でがんばりましょう。以上でお話を終わります。

コロナ禍でスタートした昨年4月。来週が今年度最後の参観日となります。たくさんの「すごいね!」を見に来てください。